

一般
質問

議員の知見と活動の集約

一般質問は、町政全般にわたって、議員個人が執行機関に質問し見解を求めるものです。議員の知見と活動の集約であり、議会活動の「花形」とも言われています。

吉岡町議会では、質問・答弁をあわせて、1人60分以内の持ち時間があります。

本会議の様子を生中継、録画でも配信。



アクセス方法は

吉岡町議会

検索

■富岡 大志 議員 …………… 10ページ

1. 電子黒板の正式導入を
2. 「ひばりの家」での給食提供を

■大井 俊一 議員 …………… 14ページ

1. 愛される犬を増やし事故防止を
2. 障害者の自立支援の現状は

■飯島 衛 議員 …………… 11ページ

1. コロナワクチン接種に補助を
2. CAP ワークショップの実施を

■小池 春雄 議員 …………… 15ページ

1. 通学バスの無料化を
2. 学校給食の無料化は

■飯塚 憲治 議員 …………… 12ページ

1. 国土強靱化地域計画の推移と現状は
2. ゼロカーボンシティ宣言の行動計画は

■坂田 一広 議員 …………… 16ページ

1. 安心安全な水道水の供給は
2. 八幡山グラウンド拡張整備の財源は

■秋山 光浩 議員 …………… 13ページ

1. 衰退が進む農業関係全般に対策を
2. 通学路優先に、外側線整備を

■藤多 ゆかり 議員 …………… 17ページ

1. 審議会などの女性委員の増員を

■山崎 守人 議員 …………… 17ページ

1. 避難所整備の補助金の検討は

電子黒板の正式導入を



とみおか たいし 富岡 大志 議員



録画映像は
こちらをCHECK

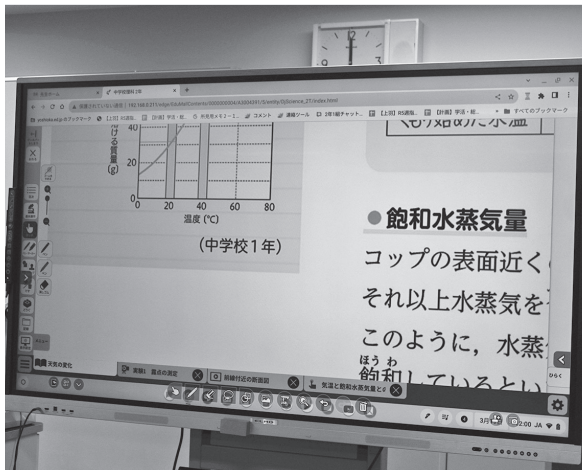
答 正式導入し理科などで活用展開

答 教育長 令和5年度では、吉中で試験的に機器をレンタルし、その有用性について検証した。その結果として、生徒が積極的な発言や意見を述べる機会が増え、クラス全体の授業への参加度や

問 HiBALLEEプラットフォーム実践の中で、電子黒板は重要なアイテム。これにより、生徒たちの授業への興味や関心が高まり、また教師の授業準備の負担も軽減されることが期待できる。そこで、電子黒板の正式な導入と活用を強く推奨を求めたいが。

意欲度が向上。教科書だけでなく動画や^{※1}インタラクティブな教材を使用することで、生徒たちの学びをより活発にし、より深い理解を促すことができた。さらに、生徒たちはグループプロジェクトやデイスカッションで電子黒板を活用し、リアルタイムで意見交換を行うことも可能となった。以上のように、電子黒板は生徒たちの理解を深め、授業への参加度

と子どもたち同士の協力性を高めるために極めて有用なアイテムであると実証できた。一方で、電子黒板は1台が約70万円と非常に高価であり、設置に広いスペースが必要。そこで、令和6年度は吉中の特別教室用として2台を正式にリースで導入し、理科などの教科で使いながら、さらなる活用展開を図りたいと考えている。



クラス全体の授業への参加度や意欲度が向上
(正式導入される電子黒板)

「ひばりの家」での給食提供を

答 時期は未定だが何とかしたい

問 ^{※2}教育支援センター「ひばりの家」には

非常に期待している。できるだけ早く開始してほしい。また、同施設では給食が提供できる体制にしたほうが良いと思うが。

答 教育委員会事務局 長 借用する建物

やライフラインの改修、人的・物的整備、支援方針確定などの準備が必要。運営開始は7月見込みだが、準備が整い次第、できるだけ早く開設できればと考えている。児童・生徒や保護者のことを考えると、給食を提供できれば最高だが、衛生面を含め安全な給食提供方法の検討も必要で、時期は未定となっている。

問 子どもたちが安心していられる場所で給食が食べられることは非常に重要。できるだけ早く、未定ではなく、どこか目標を決めて、しっかりとやっていただきたいが。

答 教育長 私も同感。本当にできるだけ早く何とかしたいと考えている。現時点でいつまでという約束ができないため未定としているが、「ひばりの家」を開始したらすぐに給食が提供できればと考えている。

ミニ解説

^{※1}インタラクティブ情報通信機器を利用する際、対話を行うように操作を進めていく形態

^{※2}教育支援センター「ひばりの家」

3ページ参照

コロナワクチン接種に補助を



いいじま
飯島 まもる
衛 議員



録画映像は
こちらをCHECK

答 負担金の補助を検討したい

問 今年の4月からコ
ロナウイルスワク
チンの予防接種が、一
部負担金を支払う定期
接種になるとのことだ
が、補助ができないか。

答 健康子育て課長
インフルエンザの
予防接種の負担金額よ
り高くなるが見込
まれており、負担金の
補助を検討したい。

問 能登半島地震で、
断水時の水の確保
やトイレの問題が浮き
彫りになったが、井戸の
活用が必要ではないか。

答 町長 町に3系統
の水源があり、県
央第一水道の事故に自
己水源で対処する計画。

答 総務課長 町の井
戸については、地
中熱可能性調査で掘削
した調査口の活用につ
いて検討の余地がある。

問 被災地支援にも使
用できる災害用ト
イレトレーラーの導入
が必要と思うが。

答 総務課長 トイレ
トレーラーについ
ては、調査研究したい。
また、災害時は協定し
た企業が、仮設トイレ
の運搬・設置を行うこ
とになっている。

問 緊急性のあるとき
など、フォトリポの
導入が必要ではないか。

答 町長 フォトリポ
の導入については、
安全・安心対策の有用
なツールであり、関係
各課と協議検討を考え
たい。

問 カーブミラーの耐
用年数など点検が
必要ではないか。

答 総務課長 膨大な
数であり、今後の

検討課題としたい。

問 シルバー人材セン
ターの会員数の現
状については。

答 町長 会員数は、
151人で、実際
に就業している人は1
28人である。

問 報酬などの見直し
が必要と思うが。

答 介護福祉課長 令
和6年度に報酬改
定を予定している。

問 河川敷のテニスコ
ートの全面改修の
予定は。

答 産業観光課長 要
望は伺っている
が、費用・時間などを
要するため、改修の範
囲や費用については検
討課題としたい。

問 吉中の体育館に、
空調設備の設置が
必要と思うが。

答 教育長 補助金を
受けられる制度も
あり、検討を進めてい
きたい。

CAPワークショップの実施を

答 教職員全員を対象に実施したい

問 今年の夏に群馬県
でもCAPのグ
ループが誕生するとの
こと。CAPのワーク
ショップを町でも実施
してはと思うが。

答 教育長 令和6年
度中に教職員全員
を対象に実施する予定

ミニ解説

※CAP
子どもへの暴力防止や子
ども自身があらゆる暴力
から自身の心と体を守る
教育プログラム



地域の現状写真を共有するフォトリポが導入できれば
カーブミラーの修理などの対応ができる

国土強靱化地域計画の推移と現状は



いづか けんじ
飯塚 憲治 議員



録画映像は
こちらをCHECK

答 すべて計画通りという状況ではない

問 防災・減災が目的の国土強靱化地域計画は、予定通りの推移か。工期は残すところ2年だがどうか。

答 町長 一部事業の見直しを行っており、必ずしも全計画が順調に実施できている状況ではない。

答 建設課長 現在は当初計画に加え、中期計画が策定され、中長期にわたる強靱化対策の推進が法制化されている。しかし当初計画は令和7年度までの計画として実施する。また令和6年度に事業を見直し、個別事業を幅広く検討し進める。

問 同地域計画で令和7年度までに着手・完成する予定工事何か。

答 建設課長 令和6年度は、上野田のまいたけセンター付近の浸水対策。町道大町・諏訪線、高橋付近の水路改修。令和7年度は、町道駒小・半田線他1線区の冠水対策を予定している。

問 町民グラウンドの遊水池化防止対策の方法と完成時期はいつか。

答 建設課長 雨水貯留槽検討事業として策定したが、グラウンドへの出水は、その西方面の駒寄地区全体を排水区域として捉える必要性から、事業を見直し調査事業を令和7年度に計画する。

ゼロカーボンシティ宣言の行動計画は

答 町全体としての計画策定を検討

問 昨年12月の吉岡町ゼロカーボンシティ宣言。政府の2050年カーボンニュートラル宣言を具現化するものと考えているが、町の行動計画はあるのか。

答 住民課長 町の事務事業に関する吉岡町地球温暖化対策実行計画（事務事業編）を令和6年度に中間見直しの予定。町全体として二酸化炭素排出実質ゼロに取り組んでいくための計画策定については今後検討していく。

問 宣言を町民にアピールするため、現在ある「飲酒運転撲滅宣言の町・吉岡」と同



早期改善が望まれる出水状況（漆原の大町地区）

様な「ゼロカーボンシティ宣言の町・吉岡」の広告塔を設置してはどうか。

答 住民課長 広告塔を立て札については、今後の取り組みの中で検討する。

問 SDGsの実践は行政が模範を示すべきだ。まず役場庁舎や学校に太陽光パネルを設置し、電力量を補う計画はできないか。

答 企画財政課長 庁舎管理としては、現在の設備の更新・新設は検討課題とする。

答 教育委員会事務局 長 太陽光発電は、環境改善に加え、児童・生徒も再生可能エネルギーの仕組みと効果を実感できる学習効果がある有用なもの。反面、高額な設置費用やパネルの維持費も必要、今後の調査研究課題とする。

衰退が進む農業関係 全般に対策を



あきやま みつひろ
秋山 光浩 議員



録画映像は
こちらをCHECK

答 歯止めをかける施策を検討する

問 農振除外申請が後を絶たず、農地が減少し、農業が衰退していく現状を、どのように感じているか。

答 町長 大規模開発と住宅開発が進み、農地減少と高齢化による就農人口も減少している。新規就農者の確保と、農業の衰退に歯止めをかける施策の必要性を感じている。

問 近年の農振除外面積はどのくらいだったのか。

答 産業観光課長 令和2年度が約3ha、3年度が約3・4ha、4年度が約5・3haと増加傾向が続

いている。

問 令和6年度、県は有機農業拡大を条件とする補助制度、またいくつかの市町村でそれぞれの補助制度を打ち出しているが、町でも何か補助制度のような施策があるか。

答 産業観光課長 町では令和6年度の新規事業として、地域農業の担い手である認

定農業者を対象とし、機械導入や施設整備に対する補助制度に予算計上をしている。

問 機械化組合や認定農業者の減少が進んでしまうと、必然的に遊休農地が増加してしまうという現実を町はどう見ているか。

答 産業観光課長 農業従事者の高齢化や担い手不足により作



薄くなったライン横を通学する児童たち

付けられない水田が増加してしまう懸念を持っている。10年後の地域農業のあり方を示す「地域計画」が位置付けられたことから、令和6年3月中に座談会を開催し、地域計画の策定を進めていく予定をしている。

答 産業観光課長 予定している「座談会」に認定農業者・北群渋川農協などの人々に集まっていたら、地域農業の現状と課題・農地の集約化・特産物の維持開発について、協議・検討を行う。

通学路優先に、外側線整備を

答 合同点検や要望に基づき検討する

問 町内全体で道路区画線（ホワイトライン）やグリーンベルトの薄さが目立つ。通学路も多く含まれており、今後の整備予定はどうなっているか。

答 町長 道路パトロールや自治会の要望、住民からの通報があった箇所を優先に、補修を行っている。

問 実際的にはどのくらい経費がかかるのか、参考費用をお聞きしたい。

答 建設課長 付随する経費を除いた参考費用で、ホワイトラインが100m当たり30万円、グリーンベルトが100m当たり45万円をそれぞれ目安としている。